

LINEなどによる中傷、いじめの問題を心配する時代となってきたが、携帯電話やスマートフォン漬けになら

あやせ未来会議 安藤多恵子

携帯電話などから起こる問題から子どもを守る方策は

問 昨今、ネット依存症やLINEなどによる中傷、いじめの問題を心配する時代となってきたが、携帯電話やスマートフォン漬けになら

ないための事業を進めていくことが重要である。そのためには、青少年健全育成事業の果たす役割は大きいと思うが、取り組みをどう考えているのか。子どもたちの携帯電話やスマートフォンの所持率

と日常の使用時間の実態を把握しているか。親子で触れ合ったり、子どもたちが実体験を通じて、さまざまなことを学んでいくことは効果的で重要だと思うが、PTAへの働き掛けはどうしているのか。

答 急速なICT化の普及は、青少年に大きな影響を及ぼしており、地域イベントへの参加促進など次世代を担うあやせっ子のために、青少年健全育成事業の取り組みは重要だと考えている。平成25年

の教育基本調査では、小学生の5割、中学生の8割が携帯電話やスマートフォンを所持しており、27年4月に実施した全国学力調査では、小・中学生ともに、県や全国に比べ使用時間が長いという結果が出ている。今後、PTA広報紙にスマートフォンに関する記事などの掲載について連携して取り組んでいきたい。

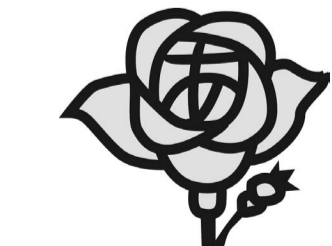
（ほかに「市民が集い交流する綾瀬の『お祭り』について」を質問）

市政に対する一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をただすことができるものです。9月定例会では、9月16日・17日の本会議で16人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です（掲載は質問順、6ページまで続きます）。

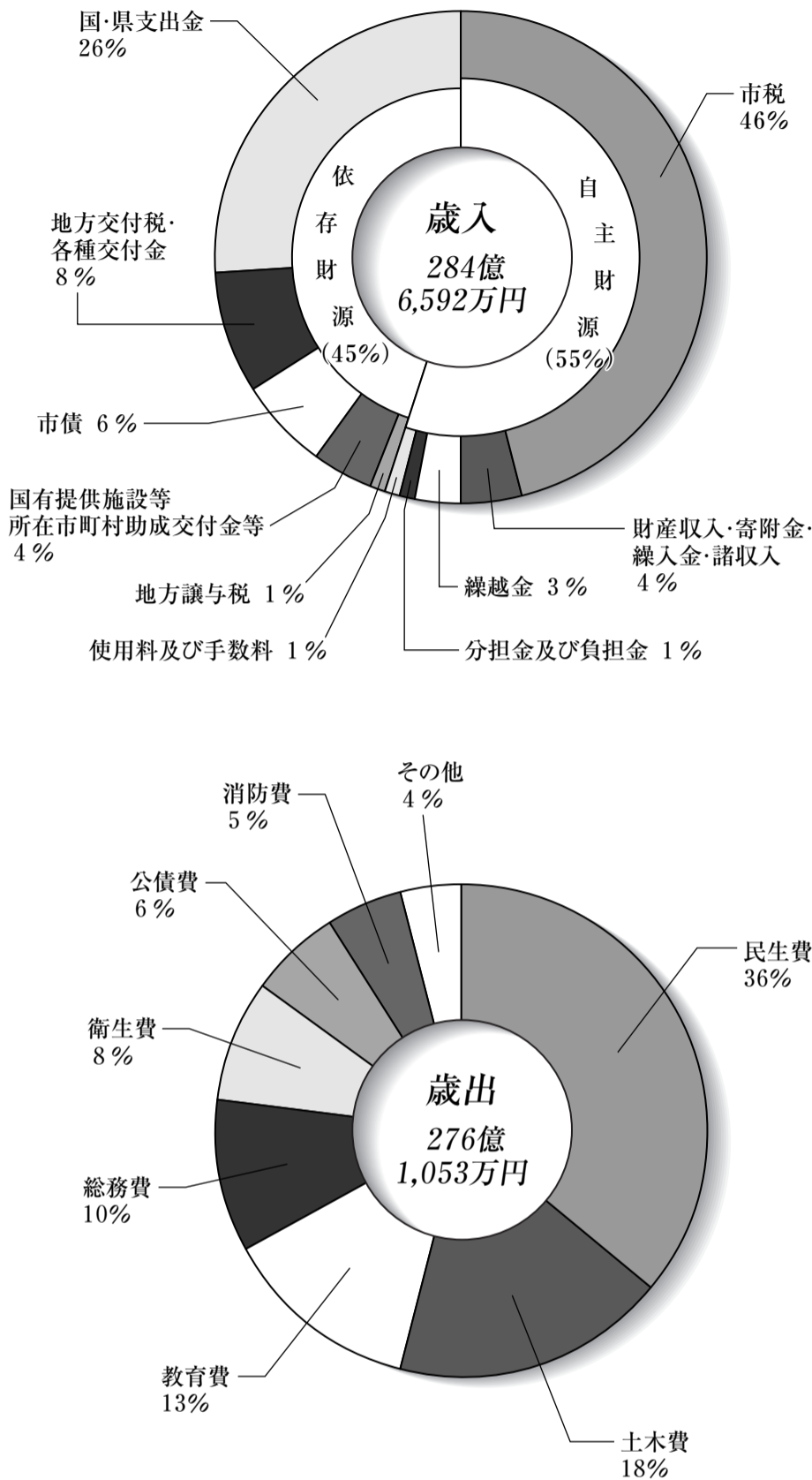
バス交通の充実と改善に向けた取り組みの進捗状況は

車の長後駅乗り入れは、現在も事業者と調整を行っているが、路線バスとの運賃差などを事業者が懸念しており、厳しい状況にある。5号車ルートは神崎遺跡開園や大型物流施設への路線バス運行などで、周辺状況が変わってくるので、効率的な運行を目指して、再編に着手していきたい。



市の花 「ばら」

一般会計決算歳入・歳出の状況



平成26年度各会計の決算規模

会計名	歳出決算額	昨年との比較		
		増減	伸び率	
一般会計	276億1,053万円	25億9,287万円	10.4%	
特別会計	国民健康保険事業	98億3,648万円	4,347万円	0.4%
	下水道事業	31億4,625万円	1億6,538万円	5.5%
	深谷中央特定土地区画整理事業	7億1,167万円	△3,122万円	△4.2%
	介護保険事業	39億4,526万円	3億2,999万円	9.1%
	後期高齢者医療事業	7億6,293万円	7,231万円	10.5%
	計	184億 259万円	5億7,993万円	3.3%
合計	460億1,312万円	31億7,280万円	7.4%	